

会 議 録

1 会議名

令和4年度第9回名立区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1 報告事項（公開）

(1) 「名立保健センターの廃止について」の答申に対する回答について

(2) 「新市建設計画の変更について」の答申に対する回答について

(3) 名立区公共交通懇話会の開催について

2 協議事項（公開）

(1) ろばた館に関する協議の今後の進め方について

3 その他事項（公開）

3 開催日時

令和5年2月10日（金）午後6時30分から午後7時55分まで

4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

5 傍聴人の数

1名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・ 委 員：石井浩順、高宮秀博、竹内隆、徳田幸一、中野祐、二宮香里、畑芳雄、
原田秀樹、三浦元二

・ 事 務 局：桐木所長、山田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、沢田市民生活・
福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、石崎地域振興班長

・ 農林水産部：空部長

・ 農村振興課：佐藤課長、廣田副課長、岩澤係長

8 発言の内容

【石崎班長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【原田会長】

- ・挨拶
- ・桐木所長に挨拶を求める。

【桐木所長】

- ・挨拶

【原田会長】

- ・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【石崎班長】

- ・会議録の確認者：徳田委員、二宮委員
- ・配布した資料の確認
- ・報告事項（1）「名立保健センターの廃止について」の答申に対する回答について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・資料No.1 について説明

【原田会長】

- ・皆さんの方でご質問等はあるか。

【各委員】

- ・質問等なし

【原田会長】

- ・報告事項（2）「新市建設計画の変更について」の答申に対する回答について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・資料No.2 について説明

【原田会長】

- ・この報告について皆さんの方で、ご意見ご質問等はあるか。

【各委員】

- ・意見及び質問等なし

【原田会長】

- ・報告事項（3）名立区公共交通懇話会の開催について、事務局に説明を求める。

【石崎班長】

- ・別冊について説明

【原田会長】

- ・当日、名立区公共交通懇話会にご出席された委員の方もいたが、さまざまなご意見を賜り、頸城自動車さんで今一度考えるということになった。
- ・市営バスの利用状況及び予約型コミュニティバスの運行状況についても、いろいろな質問があった。
- ・皆さんの方で、ご意見ご質問等はあるか。

【各委員】

- ・意見及び質問等なし

【原田会長】

- ・協議事項（1）ろばた館に関する協議の今後の進め方について、担当課に説明を求める。

【空農林水産部長】

- ・昨年の3月、ろばた館の存続についての意見書をいただき、4月に市から回答させていただいた。
- ・市の回答としては、ろばた館そのものを廃止するというわけではなく、ろばた館の機能の一部、特に温浴機能については廃止するという方向で説明させていただいた。
- ・その後、地域に入り、ろばた館の活性化方策について意見交換をさせていただいた。
- ・市としても、ろばた館は地域の皆さんが集まりやすい場所で、活性化に取り組める可能性がある場所だと思っている。
- ・引き続き、地域の皆さんと活性化の方向を検討させていただきたい。
- ・一方で、設備は耐用年数を超過しており、修繕が必要になってきている。
- ・ろばた館の在り方についての方向性をできるだけ計画的に定めていきたいという思いから、施設の利用状況や修繕の状況を皆さんと共有させていただき、施設の機能を廃止または休止する時期の案についてご提案させていただきたい。

- ・また地域の活性化の考え方についても、ご説明させていただき、今後の協議の進め方について協議していきたいと思っている。

【佐藤農村振興課長】

- ・1月22日にろばた館を会場に「新春餅つきと獅子舞の演舞」というイベントを行った。
- ・大変多くの名立区民の皆さん、また区外の皆さんから来ていただき、賑わいのあるよいイベントとなった。
- ・イベントにあたっては、輝く里不動の会の皆さんに餅をついてもらったり、ひまわり会の皆さんから餅を小分けにさせていただいたりした。
- ・折平芸能保存会の皆さんからは、獅子舞を見せていただき、来場者には大変喜んでいただけたと思っている。
- ・その他にも、深雪加工グループ、八友会、操美会の皆さんが特産品の販売を行い、そちらもすぐに完売した。
- ・2月19日には、同館を会場に「そば打ち体験」を実施させていただき予定で、2月3日に募集を開始したところ、2月6日には定員の30人に達した。
- ・このことから、そばというものは人を引きつける魅力がとても強いと感じた。
- ・引き続き、皆さまからのご協力をもとにイベントを実施していきたいと思う。
- ・資料No.3について説明

【原田会長】

- ・皆さんの方で、ご意見ご質問等はあるか。

【二宮委員】

- ・大規模な修繕が必要となった場合とあるが、大規模の目安はどのくらいか。

【空農林水産部長】

- ・休業しなくてはならないような修繕は大規模なものだと思っている。金額によるものではない。
- ・可能な限り令和7年3月31日までしっかり使ってもらいたいという思いではいるが、どのくらいの期間で営業再開できるのかということも修繕内容によって変わってくるため、協議させていただきながらになると思う。

- ・基本的には所管している農林水産部の方で休止するかどうか判断したいと思っている。

【二宮委員】

- ・承知した。

【原田会長】

- ・ろばた館は屋外にある空調設備 1 機で全館を冷暖房している。非常に故障が多く、いつ壊れるか分からないと伺っている。
- ・空調の故障は、温浴機能や食堂機能だけでなく、ろばた館全体の問題となるが、その場合はどのようにお考えか。

【佐藤農村振興課長】

- ・令和 3 年度に我々が所管している別の施設であった例だが、そこも全館空調であった。
- ・修繕するとなれば何千万円もするところであったが、地域の皆さんが集会所として使用していた施設であったため、そこについては全館空調を止め、エアコンを設置したりして、現在も使っている。
- ・エアコンの設置には 5 0 0 万円ほどかかったが、それであってもエアコンを入れて施設を残していこうとなった。
- ・ろばた館も全館空調であり、同じ事態が起こり得ると考えているが、その場合は、このような形で対応していきたいと考えている。

【原田会長】

- ・承知した。
- ・皆さんの方でご意見、ご質問等はあるか。

【高宮副会長】

- ・令和 7 年 3 月 3 1 日に廃止となっているが、その時点で仮にまだ使える状態であっても廃止となるのか。

【空農林水産部長】

- ・今回廃止の時期をご提案させていただいたのも、ある程度計画性を持たないとうまくいかない部分があると考えたからである。

- ・従業員として雇用されている方々も、ある程度廃止の時期を決めないと次の仕事の準備ができないということもある。
- ・また、ろばた館を活用して地域で使っていきたいとなったときの管理方法を決めておかないと、我々も支援ができなくなってしまう。
- ・これらのことから、どこかで温浴機能の廃止の期日を決めないと、次のステージの話ができないため、今回お話をさせていただいた。
- ・令和7年3月31日にまだ使える状態であったとしても、温浴、食堂を市営施設として使用していくのは止めるということで提案した。

【原田会長】

- ・他に皆さんの方で何かあるか。

【中野委員】

- ・先ほどろばた館でのイベントは成功だったと話があったが、イベントに来られていた人の温浴や食堂の利用状況は把握されているのか。

【佐藤農村振興課長】

- ・1月22日については、入浴は54人。食堂利用のみは把握している限りではなし。入館のみは70名ほどであった。
- ・ちなみに1週間前の1月15日は、温浴の利用が27人。食堂利用のみはなし。入館のみも0であった。
- ・やはりイベントを行うことで、温浴の利用も増えるし、入館される方も増える。
- ・コロナ禍ということもあり、イベントを機に久々に顔を合わせたという方もおられたので、地域振興をしていく上で、イベントというものは大事であると考えている。

【徳田委員】

- ・令和7年3月31日以降、機能が廃止されれば、ろばた館はイベント会場、集会所、避難所の機能しかなくなってしまうのか。

【空農林水産部長】

- ・温浴機能がなくなった後のろばた館をどのように活用していくかを考えていく必要がある。

- ・例えばイベントなどで厨房を使っていきたいとなれば、イベントで月1回程度なのか、土日だけでも地域で営業して使っていくのかなど、使い方を決めることで、開館時間やそれに伴う経費、施設の管理の仕方が見えてくる。
- ・このことから、機能廃止後の使い方を皆さんと考えていき、必要な予算については確保していきたい。

【徳田委員】

- ・承知した。

【原田会長】

- ・他に皆さんの方でご質問等あるか。

【三浦委員】

- ・温浴と食堂を廃止となると、貸館施設になるかと思うが、その場合の年間維持費は試算しているか。

【佐藤農村振興課長】

- ・貸館の運営の仕方によって年間経費がかなり変わってくる。地域で使い方を決めることで、管理運営方法が決まってくるので、現状では試算はしていない。

【三浦委員】

- ・現在の公費投入額だけを見せられても納得しがたいものがある。
- ・地域が利用方法を考え、それによって管理方法を検討するとのことだが、まず設置者として市から温浴、食堂が廃止された後のろばた館を、どのように地域振興策にいかしていこうかというプランが示されるべきと前々から言っている。
- ・温浴、食堂がない場合に維持管理費がどのくらいかかるのかということ、今の収支状況との比較ということもあると思う。
- ・先ほどのイベントでの話で、温浴の利用者よりも入館のみの方が多いということであったが、地域との意見交換の中でも、入館料を取ってはどうかとの意見もあったわけで、そういった劇的な変更も含めながら収支の改善を目指すという姿勢が見えてこない。
- ・地域と協議して検討することも必要なのかもしれないが、市としても地域振興策をどう考えているのか、そばの生産が地域振興になっていくのかは私には今の段階では分からないが、もう少し具体的な形で提案していただければと思う。

- ・もう一点。自分が関わっている高齢者福祉団体が、ろばた館の休館日である月曜日に特例的に使わせてもらっているが、ろばた館の管理委託を受けているうみてらす名立の指定管理者が変更になってから、休館日の使用についてこれまでと同様にはなっていないと受け止めている。
- ・また、廃止までの2年間で、ろばた館の収束に向かう2年間となるようであれば、地元の人間として大変寂しく感じる。地域の皆さんに、ろばた館という施設があったということが長く記憶に残るようにという気構えで取り組んでもらいたい。
- ・言葉についてだが、廃止と休止の使い分けはどうなっているのか。休止ということは再開もありと考えてよいのか。

【空農林水産部長】

- ・私たちも、より具体的な活用方法を考えていかなければならないと思っている。地域だけに任せるのではなく、行政からも提案し、一緒に考えていきたい。
- ・この2年間の過ごし方だが、地域で活躍したろばた館への感謝や愛着の気持ちを添えられるような取組を一緒に考えていきたい。
- ・引き続き、イベントや活動を市で主体的にやっていこうと思っているため、合わせてこれまでのろばた館の振り返りなどもやっていけたらと思う。
- ・廃止と休止の言葉の使い分けについては、廃止までの2年間で急遽使用できなくなってしまった場合、いきなり廃止ではなく休止という形にし、令和7年3月31日をもって正式な手続きにより廃止とする可能性もあるかと思い、休止という言葉も添えさせていただいた。

【佐藤農村振興課長】

- ・休館日の利用についてだが、ろばた館は市の直営で運営している。
- ・条例上は休日を定めていることもあり、通常、休館日は利用できないが、名立区の皆さんが地域として使用したいというお話を聞いているため、特別に対応させていただいている。

【三浦委員】

- ・地域振興策の「地域」の捉え方だが、ろばた館周辺の地域という捉え方もあるだろうし、名立区全体の地域振興という捉え方もある。名立区全体の地域振興という観点からすれば、ろばた館だけの問題ではない。

- ・そういう観点からするとろばた館の担当課だけの議論ではなく、関係がある課と関連しながら地域振興策を検討していかなければ、我々が望む地域振興策とは微妙に違ってきてしまう可能性がある。
- ・我々地域協議会や名立区の皆さんとすれば、地域振興策や今後の活性化は一番大きな焦点になる。
- ・今後も我々と一緒に議論していくことになるかと思うが、地域の捉え方についてはぜひそのような視点で検討していただきたい。

【空農林水産部長】

- ・我々もとても大事な視点だと思っている。
- ・ろばた館の在り方というものをきっかけに、農業との繋がり、そばだけでなく不動山登山やブナの森ツアーなど、地域資源を活用した取組との繋がりも考えていきたい。
- ・また、温浴機能がなくなったときの生活面での不便を軽減できるような他の代替策も考えたい。例えばうみてらす名立にお風呂に入りに行くことが大変な場合は、温浴をより使いやすくなるようなサービスなどを提供し、ろばた館だけの話にとどまらず、これをきっかけにできることを繋いでいき、地域が活力ある状態で残っているよう我々としても努力していきたい。

【原田会長】

- ・他にご意見ご質問等はあるか。

【二宮委員】

- ・廃止と休止について、先ほどのお話だと温浴機能が故障したら休止にし、期限がきたら廃止という内容だったが、数日で直るような修繕でも休止を続け、期限がきたら廃止とするのか。

【空農林水産部長】

- ・施設の状態によるが、1日2日で直るようなものであれば休業という形になると思う。

【原田会長】

- ・他にご意見ご質問等はあるか。

【畑委員】

- ・資料No.3の令和4年度の修繕状況に、その他の項目で平成29年度は107万円、令和4年度見込みで71万8千円となっているが、どんな修繕が必要だったのか。

【佐藤農村振課長】

- ・予算のとり方になるが、計画的にやることが決まっているものは当初予算に計上する。例えば、令和4年度でいうと空調設備の機械室給湯戻し管入替や、その他にあるふれあいホール照明器具入替というのは令和4年度にやらなければならないこととして予算を計上していた。
- ・その他は想定できなかつたもので、いろいろなところからお金を集めて修繕してきた。今手元に資料がないため、具体的にお答えすることができないが、平成29年度もそのようなことが起きたのではないかと考えられる。

【畑委員】

- ・承知した。

【原田会長】

- ・私の方から一点。協議する「地域」というのは、今はどのように考えているか。

【佐藤農村振興課長】

- ・昨年5月の地域協議会に来させていただいたときに、できれば実際に利用されている地域の皆さんにも意見をいただきたいとお話させていただき、その後、意見交換をする場を設けていただいた。
- ・今後も老人クラブや折平芸能保存会の皆さん、加工グループの皆さん、いきいきサロンの皆さんなど、実際にろばた館を利用されている方の利用の意向を確認させていただきたいと思っている。
- ・また、すべての地区の皆さまに、ろばた館をこうしていきたいという説明はどこかの段階でさせていただきたいと思っている。
- ・時期は未定だが、地域協議会委員の方々だけではなく、実際に地域の皆さまからもご意見をお伺いし、決めていければと思っている。
- ・名立まちづくり協議会が名立まちづくり計画を作った際に行ったアンケートでは、公共交通の満足度が低く、重要性が高かった。
- ・存続してほしいというのはなかなか難しいものがあるが、こういうことができないかというお話はいろいろできるのではないかとと思っている。

【空農林水産部長】

- ・どなたにお聞きするのが良いかや、お聞きする相手に漏れがないかはお助言いただきたいと思っている。

【原田会長】

- ・承知した。
- ・他によろしいか。

【三浦委員】

- ・今後、どのような機能をろばた館に求めるのかということだが、市の施設のまま公費で運営し、貸館となれば、今300万円ある収入はほぼ0になる。
- ・新しい施設の在り方を考えて、それに関する維持費が同じくらいかかるようであれば、乱暴ではあるが、今のままでもよいのではないかというのものもある。
- ・公費投入額の議論になって、こんなに公費は投入できないため1,000万円くらいの維持費で活用をお願いしますという話になると入口が狭まってしまう可能性があると思うので、2年間の検討に入る前に想定される利用形態ごとの維持費の試算をしておいてもらいたい。

【空農林水産部長】

- ・懸念は承知した。コストだけを見て、という話ではないと思っている。
- ・令和4年度見込の支出2,400万円の多くを占めているのは温浴だけではなく、人件費も大きい。
- ・常設で管理者がいなくてよければ人件費はかからなくなってくるため、収入はなくなるが、支出も減ってくる。
- ・貸館であれば、総合事務所に鍵を置いて貸し出す形にすれば、人件費はほぼ発生しないという管理方法もあると思う。
- ・懸念の部分も意識して準備を進めていきたいと思う。

【佐藤農村振興課長】

- ・温浴と食堂機能をたとえ休止したとしても、厨房機能を残すことで週末だけでもお店を開くということもできると思う。

- ・地域の皆さまから、どんな形で使いたいかを聞くことで、一週間の利用頻度や一日の利用回数が分かってくるので、貸館がよいのか、それとも常設で管理人を置く方がよいのかが見えてくる。
- ・維持管理費は、鍵の管理のみか、常設で管理人を置くかで大きく変わってくるため、管理パターンはいくつか想定したが、費用の試算まではしていないところである。
- ・できれば、皆さんから利活用をお聞きした中で、試算をお見せできればと思っている。

【二宮委員】

- ・維持管理費の中で、除雪の費用も考えておいてもらいたい。

【原田会長】

- ・他によろしいか。

【各委員】

- ・意見及び質問等なし

【原田会長】

- ・ろばた館は福祉、教育文化、地域振興、農業、商工業とさまざまな形で関わりがある。また観光の拠点としても考えられる。
- ・これまで関わってきた団体とこれから一緒にやっというとする団体とで、実働ができる話し合いをしようと、地域協議会の方で音頭取りをしようと考えている。
- ・できればフリーハンドできちんとしたことを考えていこうと思っているので、皆さんのお知恵をお借りしたいと思っている。
- ・意見交換会で意見をいただいた方々、ろばた館に関わっている方々、ご利用いただいている方々、裏で支えていただいている方々、できればすべての皆さんに集まっていたら、行動ができるような会を開催できるように進めていきたい。
- ・残念ながら地域協議会は実行する力はないため、音頭を取って、皆さんと一緒に方向性を考えていけたらと思っている。
- ・具体的には2月中に一度地域協議会を行い、皆さまのご了解を得たうえで進めていきたい。

【石井委員】

- ・確かに話しは進めていかなければならないと思うが、時期が悪い。

- ・南部の方は決算期や引継ぎに入るため、なかなか集まるのは難しい。

【原田会長】

- ・日にちは調整させていただく。
- ・他にご意見ご質問等はあるか。

【各委員】

- ・意見及び質問等なし

【原田会長】

- ・その他事項に入る。
- ・まず皆さんの方で何かあるか。

【二宮委員】

- ・予約型コミュニティバスについてだが、バス停以外の、例えば坂道のある高齢者の自宅まで行くことはできないのか。

【石崎班長】

- ・今実証実験を行っているものは、あくまでバス停からバス停へ移動するものである。
- ・今の路線バスのように決まった時間ではなく、来てほしい1時間前までに予約をしてバスを呼ぶことができるというシステムだ。

【二宮委員】

- ・通路は一定ではないと書いてあるため、通路だと称して行くことはできないのか。

【石崎班長】

- ・通ることはできても、停まる場所はバス停となる。
- ・よく使う場所であれば、道の状況にもよるが、バス停を新設して対応することができる。

【二宮委員】

- ・承知した。

【原田会長】

- ・他にあるか。

【徳田委員】

- ・市議会12月定例会で、2名の議員がうみてらす名立について質問している。

- ・私個人としては、市長の答弁は具体性に欠けていると感じた。今後の対応を注視していきたいと思っている。

【原田会長】

- ・承知した。
- ・他に何かあるか。

【各委員】

- ・意見及び質問等なし

【原田会長】

- ・事務局の方で何かあるか。

【石崎班長】

- ・12月8日に地域協議会の視察研修を実施させていただいた。今後の参考に参加された方から次回以降の要望などをお聞きしたい。

【畑委員】

- ・大変よかったと思っている。
- ・名立区に比べて頸城区は広く、坂口記念館やくびき野レールパークや大池いこいの森ビジターセンターなどがあった。
- ・名立区は南部に上がる道中で目立つものといえろばた館なので、それを有効に使えたらと思う。

【竹内委員】

- ・もっと天候のよい時期がよかった。
- ・頸城区は地力が違うため、参考にするのが難しい。
- ・同じような規模で先進的な取組をしているところがあればそのようなところがよい。

【石井委員】

- ・今回は視察か所が多すぎて、どこにいても尻切れトンボのように終わってしまった。2か所ほどをじっくり視察するのがよい。
- ・他の地区で行っている田舎体験も見てみたい。

【高宮副会長】

- ・自宅で仕事をしているため、なかなか他の区へ行くことがない。良い機会であった。

【原田会長】

- ・その地区の方が大切に思っているものはなかなか分からないし、自分たちの住んでいるところの良さもなかなか分からない。
- ・まちづくり、地域づくりをやっていかなければならない中で、非常に考えさせられることが多かった。

【徳田委員】

- ・視察場所はそれぞれ勉強になった。それを自分自身が今後どう生かしていくかというところに難しさを感じている。
- ・同じ規模の区や地域の人たちがどんな風にもがいていて、試行錯誤しているのかということも考えていく必要がある。

【中野委員】

- ・視察研修は初めて参加したが、見に行くところがそのまちの中でどの程度の重みがあるところなのか事前に勉強していけばよかった。

【二宮委員】

- ・コロナ禍でずっと行けなかった視察研修の何年か分がギュッと詰まって、私としてはいろいろ行けてよかった。
- ・頸城区の瀧本邸や白田邸も天気がよければ行きたかったが、観光に力を入れたいという頸城区のことを学べてよかった。
- ・頸城区は名立区よりずっと広く先進的だが、ユキノハコも不動地区でできないかと思ったりもした。

【石崎班長】

- ・皆さまからいただいたご意見を参考にし、来年も計画させていただきたいと思っている。
- ・令和4年度第10回地域協議会の日時：令和5年2月28日（火）午後6時半から名立地区公民館で開催したい。

【高宮副会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121（内線 5504）

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。